

# 日本共産党 秋山もえ

埼玉県議会議員

# もえ通信 NO.164

日本共産党は夏のオリンピック中止を求めています!!!

ただ今、2月定例の県議会  
 ま、最中です。コロナの第3波  
 が収束しないうえに、状況  
 が続いていま。支援金  
 ぐらを支える。減収への補填に  
 休業補償。政府が本気  
 医療機関の「社会的責任」を  
 位置づけ、いくことを求めています。

●プロフィール：日本共産党  
 上尾市議3期 埼玉県議1期目  
 千葉県木更津生まれのO型、辰年、水瓶座  
 Ally(性的マイノリティ支持者) 新聞奨学生  
 をしつつ大東文化大学国際関係学部卒  
 (ウルドゥー語専攻) 身長170cm 家族は夫&こども3人  
 手話が好き(埼玉県手話通訳問題研究会会  
 員) 趣味はカフェめぐり、バスケ、ネイル、詩  
 をかくこと、歌うこと、整理整頓

SNSで様々な情報を日々発信しています!!

🏠 上尾市西上尾第二団地 2-19-503  
 ☎ 048-783-0503 📠 090-5394-7971  
 ✉ mugendai2010@docomo.ne.jp  
 LINE ID: mugendai2012  
 📱 Facebook, Twitter, LINE, Instagram  
 ブログは「JCP\*もえブログ」  
 HPは「秋山もえオフィシャルサイト」

## 埼玉県政の今とこれから

2019年4月に県議会へと送り出していただいたから、もうすぐ2年になります。議会ごとに「県政ニュースター」を作成して、近くて遠い埼玉県政を少しでも身近にしたいという思いで、みなさんのご自宅にポストインさせていただいています。ご覧になった感想など、お気軽にお寄せいただけたらと思います。

さて、今回は馬場頭限定で配っている「もえ通信」の特別号を作成しお届けしました。現在、2月定例議会議会が開かれておりますので、知事から提案されている予算の特徴をお伝えします。今回の予算は①コロナ対策に全力 ②福祉施策前進 ③災害対応強化が大きなポイントです。これを実現させるために、知事部局の職員を119人増やす方向も示されました。上田県政時代に減りに減らされてきた職員を、しっかりと適正に増やしていく方向に舵が切られたことは大いに評価できます!! 児童相談所と一時保護所を増設する、特別支援学校の分校3ヶ所増やす等、この間、なかなか進まなかつた福祉施策が前進をはじめました。これらは日本共産党県議団が要望してきたことでもあります。大野県政になってから、お互いにリスペクトをし、言うべきことを伝え、あと押しをし、県政をよりよい方向へとすすめていく実感が、やりがいを感じます。国政も野党共闘で自公政治に終止符を!!!

### コロナ診療・検査医療機関 どうなる!?

県が指定し、HPで病院名を公表しているコロナ診療・検査医療機関が現在1200ヶ所あまりあります。しかし、なんと国の補助が3/31まで。このままでは、これらの医療機関でコロナ診療が困難に...!!! 国は補助の継続をすべきです。

秋山もえの公式LINE@  
 県政情報etc  
 お漏れしてます!!

秋山もえ LINE@



ぜひ登録をヨロシクです!!

政治家YouTuber  
 秋山もえ  
 「JCPもえチャンネル」  
 毎日更新中!!  
 見てください!!





過去最高

10月16日大野元裕知事に要望・提案を手渡す日本共産党議員団

# 2兆1198億円の予算案

## コロナ対策強化、特別支援学校の充実など

### 2月19日から県議会が開会されました

大野元裕知事から示された予算規模は2兆1198億円過去最高額です。

重点施策は、●安心安全の強化●デジタル活用の促進●持続可能な社会へとして、保健師38人増員、PCR検査に強化を含めコロナにかかわる医療体制強化●上田県政の下で減らされてきた職員が119人増●特別支援学校の増設（旧岩槻特別支援学校の跡地や、県立高校内での分校設置など）は、日本共産党と県民が一緒に要求してきたものが実現されたものです。一方で、「収収確保対策強化」でネットワークシステムの導入、国保税の値上げ、埼玉高速鉄道

7号線、都営地下鉄大江戸線の延伸調査検討費、家畜保健所を3カ所から2カ所に統合などの議案もあり、日本共産党県議団は、知事の政治姿勢を質します。



決意新たに、予算特別委員会に  
守屋ひろ子県議と臨みます

お困りごとはありませんか？

# 日本共産党にご相談ください



号外

## 前原かづえの県政ニュースレター

2021年  
3月

日本共産党  
埼玉県議団

〒330-9301埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内  
TEL048(824)3413 FAX048(825)1048 <http://jcp-saitama-pref.jp/>

# 伊藤岳参院議員と前原県議が 医療現場の声を聴く



1月30日、伊藤岳参院議員と前原かつえ県議は医療現場の実態を聴くためにさいたま医療生協の病院、訪問介護、診療所、保健施設等をリモートで結んだ集会に参加しました。現場の実態が報告され、なんとかしてほしいと切実な意見が寄せられました。その主なものを紹介します。

●保健所から訪問してほしいと依頼があったが、防護服、救急搬送の時はどうするのか等問題が多くて対応できなかった。●介護施設で利用者や職員の家族に陽性者が出たが、保健所の対応が遅い。●歯科診療は診療報酬が低いのに患者は25%減り、減収の補填は歯科にはない。●病院や診療所への補助金はありがたいが申請書類が煩雑で大変。●看護師など昼食休憩は話もできない。食事は壁に向かってしている。●ワクチン接種は集団でやってほしい、

PCR検査・通常診療・ワクチン接種の3つの業務はとてもできない。●ワクチン接種に連れて行ける家族がいる場合はいいが、家族などいない場合は誰が連れて行くのか、など切実な意見が出されました。

伊藤岳参院議員は、県内の医療機関で、初動の遅れから大規模なクラスターが発生した事例と、他県の医療施設の全職員と疑いのある患者のPCR検査を実施して感染を抑え込んだ事例を紹介。「医療機関が自主的に検査した場合でも国が全額負担する仕組みが必要ですね」と語りました。

## 感染防止に疲弊している 保育士の待遇改善の申し入れ



2月18日、朝から晩まで感染防止対策で疲弊している保育従事者への慰労金の支給やPCR検査の実施、密を避けるため面積基準の引き上げ、保育士の待遇改善のための公定価格の引き上げを国に求めることを県担当課に要望しました。

県政の発展、  
県民のみなさまの命  
くらしを守るため、  
全力を尽くしてまいります。



伊藤初美市議と議会報告会

# お困りごとはありませんか？

この間、ご相談が来たものを紹介いたします。

- 不安でPCR検査を受けたいのですが、お金が高いので心配です。

まず、かかりつけクリニックや病院に相談してください。

埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター ☎ 0570-783-770

埼玉県受診・相談センター ☎ 048-762-8026

川越市帰国者・接触者相談センター ☎ 049-227-5107

- お金が不足して困って共産党に相談したら福祉協議会から借りることができました。とても助かりました。

生活のお金に困ったときは、

川越社会福祉協議会 ☎ 049-225-5703

- 年金の空期間について詳しいことを知りたいのですが。

年金の相談は、

川越年金事務所 ☎ 049-242-2657



- ごみの問題で困っています。なんとか対応してください。

まずは、自治会へ相談を！

川越市資源循環課

☎ 049-224-8811

- 飲食業者の時短要請の協力金について

埼玉県感染防止

対策協力金については

☎ 0570-000-678

- 家賃が払えなくて困っています

住宅確保給付金の

相談は

☎ 0120-23-5572

## 守屋ひろ子の県政ニュースレター



# 2/19から3/26まで開会

## 川越特別支援学校増築へ

2月12日、午前は大野知事より共産党県議団の予算要望に対する回答が行われました。午後に埼玉県は、2021年度予算案を発表しました。一般会計の総額は前年度比8.1%増の2兆1198億円で、初の2兆円を超えました。コロナ感染の影響で県税は大幅減収の見込みです。臨時財政対策債の発行などで必要な事業を進める見込みです。重点事業としては、●コロナ感染対策●DXの推進●防災・減災との説明です。昨年6月に一般質問で取り上げた川越特別支援学校の増築予算案で定員72名程度の規模となります。



川越市議団と梅村さえ子元衆院議員とともに、特別支援学校に視察に行った際、子どもたちの教室の過密状況と先生たちの休憩室が体育館の中2階で厳しい環境に置かれていることで再質問までしたことが実現しました。



## 救命救急センターをささえる 川越救急クリニック訪問

2月22日守屋ひろ子県議は、党川越市議とともに川越市内にある川越救急クリニックを訪問し、上原淳院長と懇談しました。昨年3月4月と原因不明の肺炎の人が来院するようになり、保健所に問い合わせてもPCR検査をやらしてもらえないことから「民間でやろう!!」と帰国者接触者外来をはじめました。



もともと埼玉医大に救急患者が集中し、各科の専門家が救急対応に追われることから、「分散させなければ」時間外診療で専門家がつぶれてしまわないように「軽症患者は面倒見よう」と「ER(緊急救命室)向き」であるとクリニックを始めたそうです。救命救急センターは県内に8カ所あります。一方入院が必要な程度の救急医療は2次医療圏で病院輪番制となっています。軽症である1次救急は、市町村の夜間診療所などが設けられています。

予算特別委員会が3月11日～23日まで行われます。共産党県議団からは前原和江県議と守屋ひろ子県議が委員として2021年度の予算審議を行います。



**2人でがんばっていきます**

# 2/19から県議会開かれる



コロナ対策要望を  
大野知事に申し入れ

## 新型コロナ・ 災害対策を強化

2回目の当初予算案が2月19日に県議会に提出されました。私たちが自主支援した大野元裕知事の2回目の当初予算案について日本共産党県議団は社会福祉の充実・県民サービスの向上の立場から予算審議に臨んでいます。

「コロナで店の営業を休んでいるが、なんとかコロナを乗り切って店を続けたい。どうすれば」との相談が寄せられ、話を聞くために訪問しました。

お困りごとはありませんか？

## お気軽にご相談ください

### ① コロナ対策として、検査・医療提供体制強化に約879億円計上

医療従事者手当支援の対象を看護職員から医療従事者へ拡大し、入院医療機関への協力金単価を重症患者3倍などに増額。

### ② 旧岩槻特別支援学校を活用した特別支援学校や県立上尾、北本、宮代高校などの整備

大宮北特別支援学校の増築、新たに鳩ヶ谷県立高校内分校の整備、川越、三郷両特別支援学校の増築(約29億5800万)、肢体不自由特別支援学校にスクールバスを増便。

### ③ 熊谷児童相談所・一時保育所の整備や県内8番目の児童相談所の新設

7カ所の児童相談所にケースワーカー42人、児童心理士14人を増員(約8億3000万円)。

### ④ 埼玉高速鉄道や都営地下鉄大江戸線の延伸に向けての調査検討

2/13日小林すみ子市議会議員と



日本共産党埼玉県議団 2021年3月

## 柳下礼子の県政ニュースレター 号外

〒330-9301  
埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1埼玉県庁内  
TEL048(824)3413 FAX048(825)1048  
<http://icp-saitama-pref.jp/>

## 感染防止に疲弊している 保育士の待遇改善の申し入れ

2月18日、朝から晩まで感染防止対策で疲弊している保育従事者への慰労金の支給やPCR検査の実施、密を避けるため面積基準の引き上げ、保育士の待遇改善のための公定価格の引き上げを国に求めることを県担当課に要望しました。



## 自衛隊・米軍の感染把握を 平和委員会が県と懇談



2月22日、埼玉県平和委員会は県と懇談し、防衛医科大学で感染者34人が確認されていたと分かりました。自衛隊内の新型コロナ感染状況を情報提供するとともに、県でも自衛隊や米軍の感染状況を把握するよう求めました。

県の担当者は陸自・空自・北関東防衛局から提供された情報は県企画総務課で把握するように改め、県民からの問い合わせに応じて述べました。

県民のみなさまの命  
くらしを守るため、  
全力を尽くしてまいります。



# 新型コロナ感染ストップ!

県民のいのち・暮らし守って

—— 現場の声を政治に届け、奮闘する

力あわせ、苦難打開へ、がんばりましょ!

日本共産党・県議員 村岡まさつぐ



新型コロナウイルス感染症の予算が不十分との批判の高まりで、第2次補正予算が組まれました。日本共産党県議団にも、連日、県民のみなさんから悩み、要望など多数寄せられています。

2月以降、届けられた多くの要望を、随時、現地調査し、その都度、党県議団として、また、日本共産党埼玉県対策本部として、埼玉県知事へ要望書を提出し、その実現を求めています。

最近では、医療機関への支援強化、PCR検査充実、中小企業支援金の改善、介護・福祉施設の感染防止、学生への支援、芸術活動への支援など要望。(5月以降提出の主な要望は裏面に掲載)

引き続き、コロナ感染で苦しむ県民を守るため、がんばります。



村岡正嗣

フェイスブックで発信中  
ぜひ、ご覧ください。



写真・右、5月26日、共産党新型コロナ感染対策本部と村岡まさつぐ(右端)などで、医療機関への支援強化を求め要望書を提出、写真・下、5月23日、伊藤岳参院議員、塩川鉄也衆院議員などと埼玉協同病院を訪問し、増田剛院長から実情を聞き、懇談する村岡まさつぐ(右端)など。



## 6月県議会日程

6月県議会・6月15日開会  
一般質問 6月19日、22日～25日  
常任委員会 29日  
特別委員会 7月1日  
閉会 3日

日本共産党は守屋裕子県議が一般質問に立ちます(22日予定)。質問では、コロナ感染第2波にそなえ、PCR検査体制強化、医療病床拡充、中小企業・個人事業主支援強化など、県民のいのちと暮らしを守る対策の強化など求めます。

## 申請はお済みですか?

— 新型コロナ関連の各種支援制度 —

### ○特別定額給付金(一人・一律10万円:国)

申請書類、届きましたか?

川口市では6月中旬ごろ順次給付と発表。申請期限は8月31日です。給付は原則世帯主名義の銀行口座への振り込みです。

問い合わせ＝市特別定額給付金コールセンター

☎:0570-015392 受付時間:8:30～17:15(土日を除く)

### ○事業で困った業者には(国、県、市の支援)

☆緊急支援金(10万円:川口市)＝市内の中小業者・個人事業主で、新型コロナ感染拡大で売上の減少した事業者等  
問い合わせ＝市産業労働政策課

☎:048-259-9025(政策係) 048-258-1619(産業創出係)  
受付時間 8:30～17:15(土、日を除く)

☆持続化給付金(国)＝売り上げが前年比5割以上減少の月がある中小企業・個人事業主等

法人200万円、個人100万円

問い合わせ＝持続化給付金事業コールセンター

☎:0120-115-570 (申請は電子申請が基本)

### ☆中小企業・個人事業主支援金(県)

第2弾:追加支援金・5月12日から31日まで16日以上休業の事業者(第1弾の支援金は6月15日締め切られました)。

問い合わせ＝埼玉県中小企業等支援相談窓口

☎:0570-000-678 (申請は電子申請が基本)

### ○住むところに困った市民には

☆住宅確保給付金・家賃(国・県)＝新型コロナの影響で、収入が減少し住宅を失う恐れがある方への給付。学生も可能

問い合わせ＝市社会福祉協議会:川口市生活自立サポートセンター

☎:048-299-8293・8294

○他に、納税猶予、無利子貸付金、学費支援制度など、あります。

## お悩み、要望など ご相談は何でも

日本共産党埼玉県議団 ☎:048-824-3413

又は、日本共産党南部地区委員会 ☎:267-8411

日本共産党県会議員

2020年6月号 NO1

村岡まさつぐ 県政事務所ニュース

発行 村岡まさつぐ県政事務所 川口市芝西2-26-20 田村店舗2階

☎ 048-485-8526 (準備中)

連絡先 党埼玉県議団 048-824-3413





# 医療機関や福祉施設などへの支援強化など……

## — 届けられた要望を埼玉県へ 日本共産党 村岡まさつぐ



◇4月20日 PCR検査体制強化など県に申し入れ

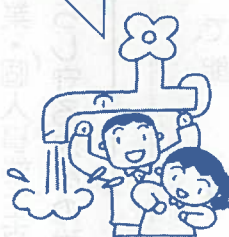


◇6月5日 川口駅前「コロナこまりごと街頭相談」を呼びかける村岡(中)と梅村(左)と前衆院議員(右)

### 5月に共産党県議団が県に要望した主な要望項目

- ◇中小企業・個人事業主支援
  - ★県中小企業・個人事業主支援金の拡充を
  - ★フリーランス・芸術家のための給付制度創設を
  - ★県主催イベント中止などへの補償を
  - ★学校公演中止の補償を
  - ★県文化芸術活動応援金(仮称)制度の創設を
  - ★学校給食食材納入業者の実態調査と支援を
- ◇教育関連
  - ★学校再開にむけ、子どもたちへ十分な配慮を
  - ★奨学金返還猶予制度の創設を
- ◇医療・福祉関連
  - ★PCR検査の拡充を
  - ★医療機関に対する支援強化を
    - ・医療機関の実態調査と医療機関への補償・支援強化を
    - ・資金ショート懸念に、県独自の支援策を講じること。
    - ・医療用マスク、防護具等の予算増額を
    - ・公立・公的病院の感染症患者受け入れ体制の強化を。
  - ★福祉施設へのマスク・消毒液などの感染防止資材配布を
  - ★介護や障害者・グループホーム等福祉施設を守る対策を
    - ・マスク、消毒液、防護服などの確保に、県の支援を
    - ・一時帰宅に居宅支援サービスが使えるよう施策改善を
    - ・在宅リハビリテーションなどの報酬算定基準の改善を

### 川口市 水道料金 値上げやめて



9月からの25%にも及ぶ水道料金値上げに市民のみならず、「値上げは困る」など、値上げ反対の声が広がっています。共産党も参加する「水道料金値上げに反対する市民の会」が、値上げ反対の運動がすすんでいます。

新型コロナでくらしがひっ迫している、いま、料金値上げなどありません。蔵市はじめ基本料免除や料金値上げ延期など、住民負担を軽減する自治体が増えて

います。ごいっしょに、値上げストップに力を合わせましょう。

### 地元住民の願い — 危険な交差点・改善される



首都高速川口線下の本蓮二丁目交差点の右折表示工事が完了。「右折注意」がありながらレーン表示がなく、「危険だ」と、住民の方々から改善が要望されていました。

発熱外来が埼玉協同病院で始まり、4月22日、梅村さえこ前衆院議員と現地に。

「医療体制の拡充と財政支援はセットで」、この思い、医療現場で改めて痛感。

5月26日、重度障害児者の入所施設の理事長さんなどと懇談。一人でも院内感染が発生すればクラスターは避けられず、生死にかかわる重大事態に。

関係者の不安と緊張は想像を絶するものでした。

5月29日、コロナ対策で埼教組、埼高教、埼玉土建、埼商連、民医連、埼生連、埼労連などの方々と懇談。医療関係者の「第2波を前に経営破綻の恐れ」や「シルバーで働く人は手当ての対象外」などと切実な発言が。



現地を見て、関係者の声を聞く  
これが活動の原点です。

### = 村岡正嗣県政事務所を開設 =

村岡県政事務所を開設しました。

県内各地での活動とともに、市民のみなさんの要求実現にむけた様々な活動の新たな拠点となれるようがんばっていきたく思います。ご支援のほどよろしくお願ひします。

来訪の節には、事前にご連絡いただければ幸いです。



川口市芝西2-26-20  
田村店舗2階  
☎ 048-485-8526  
(準備中)

# コロナ感染拡大、対策のさらなる強化求めて

## コロナ感染と豪雨災害に — — いのちと暮らしを守るため全力で!! 村岡まさつぐ



7月10日午後、川口駅前、塩川鉄也衆院議員、梅村さえこ衆院比例予定候補、おくだ智子衆院2区予定候補と、豪雨災害救援募金を訴えながら、コロナ問題など、国政、県政の報告を行いました。多くの方に、募金のご協力、そして、話を聞いていただきました。写真右から、村岡と塩川、梅村、おくだの各氏

### 6月県議会で決まった コロナ対策の補正予算概要 (総額1,591億円)

- 医療提供体制の強化 **491億円余**  
重点医療機関に対する病床確保・設備整備への助成、医療機関・薬局等の院内感染防止対策への助成、クラスター化を防止するコロナ対策チームの設置・運営
- 医療機関・介護従事者等への支援 **373億円余**  
医療従事者等への慰労金の支給、介護施設等の職員への慰労金の支給、感染症治療に対応する医療従事者への支援
- 感染症拡大防止対策等の推進 **118億円余**  
介護施設等における感染防止対策やサービス再開に向けた支援、幼稚園及び県立学校における感染防止対策、地域公共交通における感染防止対策や運行継続への支援
- 中小・小規模事業者等への支援 **120億円余**  
中小企業・個人事業者等に対する家賃への支援、テレワークを導入する県内企業等へのさらなる支援
- 児童生徒・保護者への支援 **25億円余**  
市町村立小・中学校における学習指導員等の追加配置に対する助成、保護者が負担する修学旅行キャンセル料への支援
- 生活に困っている人々への支援 **142億円余**  
生活福祉資金の特例貸し付けに対する助成、ひとり親世帯臨時特別給付金の支給

また、新たに感染症対策課が新設されました。

東京と一体に、埼玉でのコロナ感染急増に強い危機感を持ちます。埼玉県は6月定例会で、総額1591億円の新型コロナウイルス対策予算を可決し、PCRセンターの3月までの延長、空床補償1床1万6190円から5万2千円への拡大、医療介護職員への慰労金、中小企業・個人事業主支援としての家賃補助など決めましたが、第2波に向け、対策はまだまだ不十分と言わざるを得ません。さらに心配は豪雨災害です。昨年は埼玉でも、台風19号による甚大な被害が発生し、私自身も、防災服を着て県内各地を飛び回りました。今や、コロナ禍での自然災害、いわゆる“複合災害”が現実となりました。広域自治体としての県の役割はさきわめて重大です。県民の命と暮らしを守るため全力でがんばります。

県議会議員 村岡まさつぐ

### コロナ感染拡大防止に 積極的なPCR検査を要望

党県議団

7月14日、村岡など共産党県議団は、PCR検査の抜本的強化を求め、県知事あて要望書を提出しました。要望書では、都内で増える陽性患者や障がい者施設職員の陽性判明時に利用者・職員全員のPCR検査を受けられなかった例などを示し、PCR検査の抜本的強化を求めました。福祉施設や教育施設、公的機関などの検査の抜本的強化。とりわけ医療的ケアを要する施設・重度障害者の施設などは感染が命に直結することから、感染者が出た場合には全員検査を実施することなど。あわせて、検査能力の拡充などを求めています。



県保健医療部長に県知事あて要望書を手渡す  
党県議団(右端が村岡)



6月県議会定例会終了後、あいさつに共産党県議団を訪れた大野知事(右)に「第2波対策に万全を」と要望する党県議団(左端・村岡)=7月3日

### お悩み、要望など ご相談は何でも

日本共産党埼玉県議団 ☎:048-824-3413  
又は、日本共産党南部地区委員会 ☎:267-8411

日本共産党県議会議員 2020年7月号 NO2

### 村岡まさつぐ県政ホットライン

(県政事務所ニュース)

発行 村岡まさつぐ県政事務所 川口市芝西2-26-20 田村店舗2階  
☎ 048-485-8526

連絡先 党埼玉県議団 048-824-3413

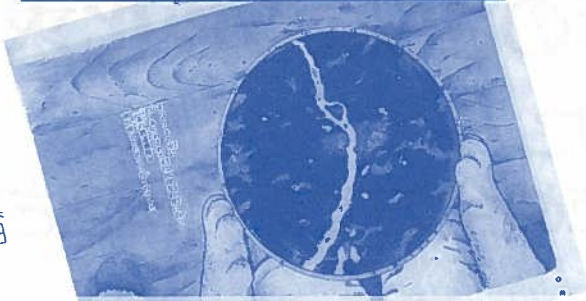


村岡正嗣

フェイスブックで発信中  
ぜひ、ご覧ください。



まさつぐのティータイム



しんぶん赤旗日  
曜版・7月12日  
号の漫画図より

**シヨバンニと天目茶碗**  
しんぶん赤旗・日曜版に連載中の漫画「銀河鉄道の夜」は、毎回楽しみです。特に、漫画のますむらひろさんの絵は感動的ですが、7月12日号を見た瞬間、曜変天目茶碗かと思いました。2017年、東京国立博物館での特別展「茶の湯」。そこで見た「稲葉天目」との出会いが蘇りました。「碗の中に宇宙がある」そのもの。漫画では、「シヨバンニの膝の上に黒曜石の丸い地図が描かれ、そこには、泉水や森が青や橙や緑や、うつくしい光でちりばめられてありました」とのセリフが。まるで小宇宙に吸い込まれる感覚になります。私にはその絵が、「物事は俯瞰して見なさい、真実を見なさい」と語りかけているように心が洗われます。次号はどんな感動が？楽しみです。

川口市…水道料金値上げを延期  
「市民の会」－中止求め、運動続ける

**4か月延期しました！**  
新しい水道料金は令和3年1月1日から  
新型コロナウィルス感染症の影響を踏まえ、9月に予定していた水道料金の値上げ時期を4か月延期しました。

延期前 令和2年9月1日から  
延期後 令和3年1月1日から

ご要望の多かった3つの制度は予定どおり9月1日から導入し

- 口座振替払いによる割引
- クレジットカード払い
- スマートフォンなどを利用したキャッシュレス決済

今後とも、市民の皆さまに対し、安全・安心な水道水を安定的にお届けできる体制を維持していくことに向け、ご協力をお願いします。

問い合わせ先…上下水道部 広報かわぐち 7月号の写し

川口市は9月からの水道料金25%値上げを来年1月1日に延期しました。市民の反対運動はじめ、世論の高まりが値上げを押しとどめました。「水道料金の値上げに反対する川口市民の会」の水道事業が公営企業法に縛られていることの本質的問題、さらに、国による水道民営化の問題も指摘しての運動は教訓的です。中止まで運動を続けること。励まされます。川口市の上水道の8%は埼玉県から購入した県水です。単価は1㎡あたり61・78円で、そのほとんどが新三郷浄水場からの水で、江戸川から取水した水です。

核のない世界をめざす原水禁大会  
平和大行進・川口を通過



平和行進の出発前、川口駅前前で訴える村岡など

7月8日、原水爆禁止世界大会に向けて、全国を回っている平和大行進が川口にやってきました。今年の世界大会は、「ヒバクシャとともに、核兵器のない平和で公正な世界をー人類と地球の未来のために」をテーマに、8月、オンラインで開かれます。核兵器禁止国際署名には、大野県知事にも奥ノ木市長にも協力して頂きました。平和大行進は、コロナに注意しつつ、風雨の中、多くの皆さんが参加。村岡も党市議団といっしょに参加し、訴えさせていただきました。

**川口の記憶展**  
日時 7月4日～8月30日  
場所 メディアセブン 川口駅前：(キューポ・ラ7階)

川口商工会議所・会報「MOVE」写真シリーズから選んだ、昭和初期を中心とした川口市の懐かしい風景や当時の産業の様子など写した貴重な写真を展示しています。

入場：無料  
問い合わせ ☎：048-227-7622  
川口市立映像・情報メディアセンター：メディアセブン

村岡県政事務所に  
川口、芝のスケッチ画



村岡県政事務所に素敵な絵が飾られました。芝在住の森山勇さんの作品です。森山さんは登山家で、多くの山のスケッチもありますが、川口の鋳物工場、川口で造られた聖火台、芝のお寺や民家、祭りなど、消え行く街並みなどをスケッチ画にしています。森山さんは、「今は歴史を振り返って、「これでいいのか」考え直す時ではないか？」とも語っておられます。

事務所内のスケッチ画

古いお寺や民家を描く時、そこに祈る人、住んでいる人の息づかいを感じ、描くことが同時に自分もその中に入ることになるのではないかと思います。見えないはずのトレースから、厳しい登山を続ける隊員の息づかいも伝わる。山も空も花も人も、みんな生きています。そんな小さな息づかいを感じ今後も絵を描き続けたいと思う。

森山 勇

6月県議会の請願に対する各党・会派の態度 ○印は賛成 ×印は反対

	共産	民主フォ	改革	県民	公明	自民
さいたま市立病院旧病棟を新型コロナ感染症対応の施設として活用することを求める請願	○	○	○	×	×	×
台風・集中豪雨シーズンを前に除去土壌等の安全管理を徹底することを求める請願	○	○	○	×	×	×

# 新型コロナ対策拡充へ — PCR検査の拡充と支援強化を！ —

## …… 大野県知事に申し入れ ……



PCR検査の抜本的強化を求め、大野知事に申し入れる伊藤岳参院議員、荻原初男党県委員長と村岡など党県議団

8月4日 村岡をはじめ党県議団は、伊藤岳参院議員、荻原初男党県委員長とともに、大野知事へPCR検査の抜本的拡大を申し入れました。

伊藤参院議員は、大野知事が記者会見でPCR検査拡大を表明したことに歓迎を表明。そして、7月28日の志位委員長のア倍首相への検査拡充の「緊急申し入れ」の内容を説明。「ぜひ、埼玉でもさらなる拡充を」と要望。参加者からの学校などでの検査拡充の要望とともに、村岡は、県内の障がい者施設で集団感染が発生したおり、検査が遅れたことを指摘し、「PCR検査拡大のため、検体採取の体制強化を」などを要望しました。

### 対策強化へ ただちに臨時国会の開催を

8月8日、川口市に梅村さえこ衆議院比例予定候補を迎え、おくだ智子埼玉2区予定候補と私・村岡、川口市議団は、川口駅前と鳩ヶ谷駅前で、急激な拡大がすすむコロナ感染。その打開へ、検査と隔離を最優先し、その為にもPCR検査の拡大、国会を開けなどと訴えさせて頂きました。汗止まらずの暑いなか、大勢の皆様が聞いて下さり、勇氣もいただきました。



写真上 川口駅前でする村岡と、右へおくだ予定候補、梅村予定候補写真右 鳩ヶ谷駅前ですタンディングで訴えるみなさんと



### 埼玉県への要望の主な項目

- ◇エビセンター存在が危惧されるさいたま市の詳細な情報公開とさいたま市への支援を
- ◇1人でも感染者が出た場合にその集団全員検査の実施、特に高齢者や障がい者などの集団では迅速な全員検査を
- ◇PCR検査拡大に、唾液検査、保健所間の連携強化、などあらゆる手立てを
- ◇全県域をフォローする検体採取専門チーム・検体採取専門車両の整備を
- ◇保健所の保健師増員、県内医療系大学の協力を
- ◇「GO TOトラベルキャンペーン」の中止、医療機関などへの支援強化を国に要望を



### 検査拡大への動き

大野知事の検査対象拡大方針を伝える埼玉新聞の記事(7月28日付 右上)川口市の検査対応拡大方針を伝える朝日新聞(8月1日付 右中) 政府の「高齢者施設の検査強化」方針を伝える埼玉新聞の記事(8月5日付 右下)

### 村岡事務所の花

村岡事務所の1階の花屋・ラ・フルーレさんに造っていただきました。



### お悩み、要望など ご相談は何でも

日本共産党埼玉県議団 ☎:048-824-3413  
又は、日本共産党南部地区委員会 ☎:267-8411

日本共産党県議会議員 2020年8月号 NO3

村岡まさつぐ県政ホットライン  
(県政事務所ニュース)

発行 村岡まさつぐ県政事務所 川口市芝西2-26-20 田村店舗2階  
☎ 048-485-8526  
連絡先 党埼玉県議団 048-824-3413



村岡正嗣

フェイスブックで発信中  
ぜひ、ご覧ください。



## まさつぐのティータイム

昨年、母を見送った。コロナが心配だが、「新盆には帰るよ」とメール。弟から「あいよ」と返ってきた。8月は、平和の尊さと家族の大切さが身に染みる。

一枚のFAXがきた。「兄貴へ」とある。実家にいる弟からだ。頼みがあつてメルアドをFAXしてもらったのだ。でも、うまく送信できなかった。さて、「弟へ」とFAXするか…。それはない。やはり名前の呼び捨てだ。昔は「あんちゃん」と呼ばれていた。弟の方は、昔から呼び捨てだ。それが彼との付き合いだ。考えたら兄弟にとって初めてのFAXだった。

文字は残るからいい…。「兄貴へ」が今も目の前にある。  
(ブログ「正嗣の奔走記」より)

## 終戦75年 憲法9条生かし、平和な日本を — 川口駅前で、訴える



川口駅前前で訴える村岡と塩川、伊藤、梅村、おくだの各氏

今年には日本による侵略戦争と植民地支配の終結から75年です。

終戦の日、8月15日、川口駅前で、塩川鉄也衆院議員、梅村さえこ前衆院議員、伊藤岳参院議員、おくだ智子衆院2区予定候補

などと、コロナ禍のもとで国民の健康と生活を守るとともに、9条を守り抜き、9条を生かした平和な日本を築くために全力をあげることなど訴えました。



## 村岡まさつぐ事務所 議会報告会

コロナ感染で開かれずにきた村岡事務所での議会報告会。7月31日、地元住民7人参加で初めて開催。広くない事務所ですが、これからも随時開催したいと思っています。

## 市内各地—現場で声を聞き 願い・要求の実現へ全力……村岡まさつぐ



夜間工事中の道路



改修中の道路を確認する村岡(右)と井上市議(左)



現地で住民の声を聞く村岡(中央こちら向き)



関係者に要望する住民と村岡(中央背中の人)

赤芝新田で、開発行為問題で相談が寄せられ、7月21日県警や市の道路・交通部署の関係者に現場に集まってもらい、皆さんから直接要望して頂きました。板橋ひろみ市議と井上薫市議も立ち会い、出来ることからやってもらいます。

新郷スポーツセンター通りの県道。平日は車が途切れることのない道路。住民は横断が出来ず困っています。7月26日、現地の確認に。休日にも関わらず大勢の住民が集まりました。早速、対応を求めていきます。

住民から改修の要望が寄せられていた赤山のSEIYU前の県道。雨続きで遅れていましたが、7月30日夜間から着工、完成まで5日。8月1日、井上薫市議と工事の始まった現場確認を行いました。



## 増える自然災害、どう向き合う？ 党県議団—地方議員の対策研修会開く

8月17日、党県議団が地方議員を対象に、豪雨災害対策研修会を開催。昨年、豪雨災害を受けた真備町へ県より派遣された県職員との報告。そして、塩川鉄也衆院議員には、災害対策に向き合う基本的な立場から始まり、災害救助法、被災者生活再建支援法の適用など、お話し頂きました。

研修会で報告する村岡



### 崩落した現地調査—秩父へ

この夏、長雨で、秩父の山間部で土砂堆積の山が大規模崩落。土砂が川を埋め、周辺の田畑が押し流されました。村岡と党県議団、秩父市議団は、7月29日現地へ。地元町会長や住民から、前から不法堆積を続ける業者への怒り、行政の厳しい対応を求める声が…。



# 国保税・後期高齢者医療保険税の減免

## コロナ関連で、埼玉商連が埼玉県に要望



要望書を手渡す埼玉商連の皆さん、左から3人目が同席した村岡

岩瀬会長は、国保減免の基準を「生計維持者」とするよう周知すること。納付期限を過ぎた分も減免できるように保険者へ徹底すること、後期高齢者医療保険料減免では埼玉県後期高齢者医療広域連合へ指導すること、など要望しました。また、参加者から申請の複雑さなどの苦情も。対応した国保医療課長は、「国から『世帯主以外の生計維持者でも申請は可』』と返答して減免し

た場合も財政措置をする」と示されたことから、市町村へ通知した。広域連合には申請者に過大な負担の無いように、できるだけ減免できるように伝える」と回答しました。同席した村岡は、「コロナという非常事態、国の緊急経済対策としての減免は担税能力をなくした事業者らが、事業を継続し続けることのできるようにするもの。その立場で市町村が柔軟に運用に踏み出せるよう県として丁寧な支援して頂きたいと要望しました。」



9月3日、埼玉商連の皆さんと埼玉県後期高齢者医療広域連合へ。保険料減免で要請・懇談し、改善を求めました。

### 県営住宅の増設など要望

川口市長が埼玉県に、村岡も同席

9月1日、奥ノ木市長が大野知事へ、県営住宅の供給促進と昭和28年建設の飯塚町住宅の規模拡大を要望しました。村岡はじめ川口市選出の県議が同席しました。



知事に要望書を手渡す市長と同席した県議 右から2人目が村岡

## 侵略を正当化する育鵬社教科書 — 県教育委員会が採択 — 一方的で極めて遺憾＝共産党県議団が談話

8月26日、県教育委員会は、県立伊那学園中学校の歴史・公民教科書に、県民、各界から、「日本国憲法を軽視し、過去の戦争を美化、肯定するような教科書」と強い批判のある育鵬社の教科書を採択しました。また、同校では、これまでも2012年から育鵬社の教科書を使用。都道府県立中学校で、同教科書を採用しているのは埼玉県と宮城県、千葉県だけです(8月31日現在)。

党県議団は、8月21日にも、県教育委員会に、育鵬社教科書の採択案撤回と公正で民主的な教科書採択を求め、現場教員の声を無視し決定すべきではないとして、採択案の撤回と採決に利害関係者は加わらないことなど申し入れてきました。

県教委の採択を受け、即日、党県議団は、「現場の教員の声を無視し、一方的に採択していることは極めて遺憾」とし、「教員の意見が尊重される教科書採択の実現」を求めて、団長談話を発表しました。



県教育委員会に申し入れる共産党県議団 (右端が村岡)

埼玉県議会9月定例会  
9月24日開会で10月14日閉会の予定  
柳下礼子県議が質問予定  
質問では、コロナ対策でPCR検査の拡大と医療整備強化など、豪雨対策、国保問題などを予定しています

村岡正嗣  
フェイスブックで発信中  
ぜひ、ご覧ください。



お悩み、要望など ご相談は何でも  
日本共産党埼玉県議団 ☎:048-824-3413  
又は、日本共産党南部地区委員会 ☎:267-8411

日本共産党県議会議員 2020年9月号 NO.4  
村岡まさつぐ県政ホットライン  
(県政事務所ニュース)  
発行 村岡まさつぐ県政事務所 川口市芝西2-26-20 田村店舗2階  
☎ 048-485-8526  
連絡先 党埼玉県議団 048-824-3413



映画「時の行路」  
県内ですすむ上映運動  
「時の行路」の自主上映と鑑賞運動が県内各地ですすめられています。映画は、神山征一郎監督の最新作で、派遣切りとたたかう労働者を通して人間の尊厳を問いかけています。「日本社会はこれでいいのか。」、人間の美しさ、希望、連帯を鮮烈に問いかける壮大なドラマです。映画は、9月19日、県内で、さいたま市民会館つらわで初公開されました。  
映画上映実行委員会事務局は  
埼玉商連内で、838・0771

# 9月1日、「防災の日」… 災害時の公的支援は被災者の権利 …… 村岡まさつぐの思い ……



研修会で講演する  
塩川衆院議員

9月1日、「防災の日」。  
8月の党県議団の豪雨  
災害対策研修会の塩川鉄  
也衆院議員の講演などで  
村岡が思ったこと、感じ  
たこと。

◇塩川議員は講演で公的支援は「国民の権利」とも……。  
災害支援の国際基準Ⅱ（スフィア基準）は、尊厳ある  
生活に関する基本的権利を示しています。イタリアでは  
避難所の食事は温かいのが当然。キッチンカー、食堂、  
シャワー、ベッドが用意されます。日本のおにぎりとパ  
ンのような避難生活は、国際基準からも憲法の保障から  
も外れているのでは。昨年の台風のとときの市内の避難所  
の「ヒドイ様子」の声など思うと……。

現在の日本の被災者への公的支援策は、被災者と国民  
のたたかひによって勝ち取られてきたもの。党県議団が  
提案した「被災者安心支援制度」は、国の制度から外れ  
た被災者を支援するもの。運動でさらなる拡充を……。

◇また、一昨年豪雨災害を受けた倉敷市真備町へ埼玉県  
より派遣された職員の体験  
談。「支援物資にスコップが  
たくさん届いた。しかし、住  
民が欲しがったのは、じょ  
れんでした。需要と供給の  
ミスマッチがあった」など。  
参考となりました。



冠水した東川口駅近くの  
武蔵野線ガード下道路

## 8月12、13日の豪雨の市内の雨量・被害

- 12日、市内最大雨量は戸塚消防分署  
1時間 88・5ミリ
- 13日、市内最大雨量は神根消防分署  
1時間 73ミリ

建物被害は、床上浸水7件、床下浸水9件  
道路冠水多数、東川口駅は構内冠水で一時封鎖

## まさつぐのティータイム(3)

### ル・ローヌ(河)

TV番組「サワコの朝」に、作曲家・服部隆之さんと娘のヴァイオリニスト服部百音さんが出演していました。そこで初めてル・ローヌ(河)を聴きました。美しく心の奥底に染み入る楽曲に胸が熱くなりました。美し作曲は祖父の服部克久さん。その余韻のまま傘寿コンサートでの録画も見ました。ラストはル・ローヌでした。祖父と父の向き合っのピアノの調べに、孫の百音さんのヴァイオリンが泣き震えるように入ってきます。演奏が終わると百音さんは大好きなおじいちゃんにハグ、祖父克久さんのその嬉しそうな顔に思わず涙しました。今年6月にお亡くなりになられたそうです。ル・ローヌに出会って、あらためて音楽のもつ深い力を知ったこの夏の終わりでした。

## 市内各地一現場で声を聞き 願い・要求の実現へ全力……村岡まさつぐ

## 県高校総合文化祭作品展を見学 さいたま市北区のギャラリーで

埼玉県高等学校総合文化祭の埼玉県代表作品展が、さいたま市北区のプラザノースギャラリーで開催されました。全国の文化祭は文化部のインターハイとも言われ、今年も高知県で開催する予定でしたが、コロナでWEB開催に。埼玉県総文もWEB開催でしたが、その代表作品がギャラリーで見られました。見事な作品の数々でした。



会場に飾られた絵画とアート(右)  
会場入り口の案内(左)



## 住宅地裏の危険な急斜面 現地の調査に

8月24日、金子ゆきひろ市議の案内で、新郷の峰八幡地区を調査。県の土砂災害警戒区域指定となっている住宅地裏の急斜面、大木の根が露わになっています。民有地なので現行制度では、所有者が擁壁工事をやらねばなりません。公的補助がなければ出来そうにありません。文京区では独自で、1000万円の補助制度を行っていますが、埼玉でも公的補助を……。



新郷の峰八幡地区の  
住宅地裏の急斜面

## 歩道橋わきの歩道一部拡幅

### 「店舗建設と合わせ全体整備する」

芝支所近くの県道の歩道が狭く危険と、住民から改善要望が出されていましたが、仮舗装ですが一部拡幅されました。

8月19日、今後の整備見通しについて、川口市の西部区画整理事務所を井上薫市議、住民の方と訪ねました。所長より説明があり、隣接事業者による店舗建設と合わせて歩道も整備することのこと。



説明を受ける村岡と井上市議(右) 拡幅された歩道(左)





9月21日 川口駅前では、訴える村岡まさつぐと、おくだ智子前県議、塩川鉄也衆院議員



9月21日 東川口駅前では、訴える、左からおくだ智子前県議、塩川鉄也衆院議員、村岡、板橋ひろみ市会議員

他方、私たちは「安倍改憲」を許しませんでした。国会内外での野党共闘は前進し、野党共闘では「新自由主義からの転換」で一致しています。ここに確信を持てます。本気の共闘で野党連合政権を目指し新しい政治へと変えましょう。

## 政治を変えよう！ … 各地で訴え

菅政権は、「森・カケ」や「桜」疑惑も、河井夫妻への1億5千万円やジャパンライフ事件も、「終わったこと」と類かむりです。独自の主張は「自助、共助、公助」ですが、これを一国の首相が言っているのはおしまいです。政府がコロナ解雇6万人超と発表し、ひとり親家庭の5割で収入が半減し、食料にさえ困っています。国民は十分に頑張っています。足りないのは「公助」です。その菅政権の下、来年度の軍事費は過去最大の5・5兆円の見込みとか。私が驚いたのは、菅氏が「政権と異なる考えの幹部職員は異動してもらおう」と述べたこと、危険な考え方です。早速、学会の人事に介入してきました。

## 菅政権の正体見たり！ 自己責任政治に未来はありません

菅政権は、「森・カケ」や「桜」疑惑も、河井夫妻への1億5千万円やジャパンライフ事件も、「終わったこと」と類かむりです。独自の主張は「自助、共助、公助」ですが、これを一国の首相が言っているのはおしまいです。

政府がコロナ解雇6万人超と発表し、ひとり親家庭の5割で収入が半減し、食料にさえ困っています。国民は十分に頑張っています。足りないのは「公助」です。

その菅政権の下、来年度の軍事費は過去最大の5・5兆円の見込みとか。私が驚いたのは、菅氏が「政権と異なる考えの幹部職員は異動してもらおう」と述べたこと、危険な考え方です。早速、学会の人事に介入してきました。

お悩みやご要望など、ご相談も村岡へ

日本共産党県議会議員 2020年10月号 NO5  
村岡まさつぐ県政ホットライン

(県政事務所ニュース)

発行 村岡まさつぐ県政事務所 川口市芝西2-26-20 田村店舗2階  
☎ 048-485-8526

連絡先 党埼玉県議団 048-824-3413

フェイスブックで発信中 ぜひご覧ください。



## 埼玉県 9月県議会

### 65歳以上の高齢者、インフルエンザ予防接種無料へ 新型コロナ患者の専用病院を県内数カ所整備へ



県衛生研究所所長の説明を聞く(中央が村岡)

## PCR検査の現場を視察 県衛生研究所に驚く

新型コロナウイルス感染症のPCR検査の最前線に立つ埼玉県衛生研究所を塩川鉄也衆議院議員と県議団で視察しました。埼玉の衛生研究所は、H26年に現在の吉見町に移転しました。本多研究所長の説明で、「地方衛生研究所は、法律に基づくものでなく、厚労省事務次官通達によっている」と聞き、役割の重さに比べ、設置の法的根拠がないことを聞き、驚きました。機器の拡充は大事ですが、それを使いこなすスペシャリストが何よりも必要と痛感しました。

## ひとり親家庭への支援強化を 「セーブザチルドレン」と懇談

9月5日、「セーブザチルドレンジャパン」の皆さんが来られ懇談。セーブザチルドレンは子どもが権利が実現された世界をめざし、世界約120カ国で活動する国際NGOです。「チルドレン」は、コロナ禍緊急支援としておこなっている食料品や遊具を提供する「ひとり親家庭応援ボックス緊急追加支援」で話題となりました。コロナ禍でひとり親家庭は、5割の世帯で収入が半分以上減少という厳しい現状。現金給付や食料支援を求める声が圧倒的です。東京都は食料支援を実施、さいたま市では昼食代支援など、支援は緒についたばかり。さつそく、埼玉県としても支援するよう9月議会でも求めました。



「チルドレン」のみなさんと懇談する村岡(右から二人目)など県議団



## まさつぐのティータイム(4)

**フェルメール・ブルー**  
 ちよつぴり、油絵を描いています。  
 青色の絵の具はコバルトブルーなど  
 4つ揃えました。よく使うウルトラマリ  
 ンブルーはチューブがへこんでしまし  
 た。フェルメールの傑作「真珠の耳飾りの少女」ではターバンがウ  
 ルトラマリで描かれ、フェルメール・ブルーとも言われます。17  
 世紀、ウルトラマリは、宝石のラピスラズリを原料につくられ、  
 とても高価でした。  
 吸い込まれるような青、青の中の青といえる美しさ、フェルメー  
 ルは裕福な養母のおかげで使えたのでした。フェルメールはウル  
 トラマリを貴族の肖像画でなく、下働きの少女などの風俗画に  
 使いました。フェルメールが好きな理由の一つです。  
 コロナで気持ちも沈みがち。でも、金木犀が秋を運んでくれ、や  
 つと筆をもつ気もでてきました。  
 まずはウルトラマリを買ってこよう。



模写：真珠の  
耳飾りの少女



防災基地の隊員と(右) 防災ヘリ  
コプター内で説明を受ける(左上)

元荒川の工事中の現場  
を視察



総合医局機構で模擬赤  
ちゃんを抱える村岡

## 各地を歩き — 現場を見て、声を聞き 医療充実、防災などへ全力……村岡まさつぐ

9月8日、新都心にある埼玉  
 県総合医局機構を視察。  
 機構では医師確保や医療水準  
 の向上めざし、奨学金貸与、医  
 師・看護師のキャリアアップの  
 サポートなど多くの事業をすす  
 めています。  
 そうした事業の説明を受ける  
 とともに、医療を学ぶ学生のシ  
 ミュレーターによる研修も見  
 学。そこでは赤ちゃんの脈まで  
 体験でき、感動。  
 孫を抱っこした気分には…。

9月11日、鴻巣市内の元荒川  
 の工事中の現場を視察。  
 県は、溢水、越水対策を全県  
 規模で実施中です。現場は長年  
 のうちに土砂が河床にも護岸  
 や河川敷に堆積。川が浅く狭く  
 なってしまい、台風等で溢水す  
 るようになっていました。施工  
 業者の苦勞を聞き、「事故なく  
 完成を」とお願いしました。

9月11日、埼玉県の防災活  
 動拠点、川島町にある中央防災  
 基地と防災航空基地を視察。  
 備蓄倉庫には、子ども用オム  
 ツ、トイレ、テント、発電機な  
 どが。県防災航空隊の防災ヘリ  
 コプターは山岳事故、水難事  
 故、林野火災、ドクターヘリの  
 運航などに活躍。制服隊員のり  
 りしい姿が頼もしかった。  
 安全に気を付けて…。

## なぜ、「見沼代用水」と言うのか？

9月のSKIPシティでの公開ライブラ  
 リー「見沼代用水 その技術」で知りました。  
 かつて、大宮から川口までの広大な見沼は  
 沼だらけの土地で、江戸時代に入ると溜め池  
 や灌漑用水のための堤防つくって水源とし  
 (見沼溜井)、新田が開発されました。しか  
 し、大雨のたびに水があふれ、田畑が水没し、  
 農民は困ったそうです。  
 将軍・徳川吉宗は、紀州藩士の井澤弥惣兵  
 衛に見沼の干拓を命じます。井澤弥惣兵衛は  
 安定した水源を利根川に求め、見沼溜井に代  
 わる用水「見沼代用水」を開削。これにより  
 15,000haの水田に水がいきわたり、食糧増  
 産と財政再建に大きく貢献しました。  
 2019年9月、見沼代用水は「世界かん  
 がい施設遺産」として登録されました。この  
 ことを県議団が議会で指摘したことを、大野  
 知事は喜び、「取り上げてもらい、うれしかっ  
 た」と述べたことを覚えていきます。



写真上・SKIPシティでの公開ライブラリー「見沼代用水  
その技術」の展示資料より 右上・会場入り口の案内のぼり



一級建築士で、市内  
 北園町在住の松田紘  
 さんの「野の花シリー  
 ズ ヤポカラシ」の絵  
 を飾らしていただきま  
 した。  
 松田さんは、東京土  
 建の技術研修センタ  
 ーや東京建築カレッ  
 シで永く講師をされ  
 てきた方です。

## 世界かんがい施設遺産とは

かんがいの歴史・発展を明らかにし、理解醸成  
 を図るとともに、かんがい施設の適切な保全に資  
 するために、歴史的なかんがい施設を国際的に資  
 する排水委員会 (ICID) が認定・登録する制度のこ  
 とです。



# 野党共闘の前進、共産党躍進で 総選挙 政権交代・野党連合政権を！

## 苦し紛れの卑劣なウソ 菅総理の露骨な学術会議人事介入

学術会議の推薦会員6人の任命拒否。大問題になっています。任命を拒んだ根拠が野党の国会での追及でことごとく破綻するなか、苦し紛れに持ち出した新たな「正当化」論も学術会議元会長は否定。事実をねじまげ、責任逃れを図ろうという姿勢は卑劣です。野党の共闘をさらに広げ、任命拒否を撤回させることが重要です。

次の総選挙、菅政権を倒し、政権交代を実現して野党連合政権樹立に挑戦します。私は、県議会での反自民連合の取り組みを生かしつつ、川口（埼玉2区）でのおくだ智子さんの統一候補擁立、総選挙勝利へ全力をつくす決意です。



10月11日、川口駅前でする村岡とおくだ智子2区予定候補、伊藤岳参院議員

## コロナ禍

### 廃業・倒産、失業など危惧 国・県の対策などが不可欠！

アメリカでは1日10万人超え。ヨーロッパではロックダウン（都市封鎖）をとるなど、コロナ感染は爆発的に拡大。埼玉や日本も予断を許さぬ状況が続いています。

しかし、菅政権は、コロナ感染拡大のいま、PCR検査の拡大や医療・介護現場、雇用危機への抜本的支援には一切触れていません。そして、「デジタル社会の実現」と、「まず自分でやってみる」と「自助」を強調

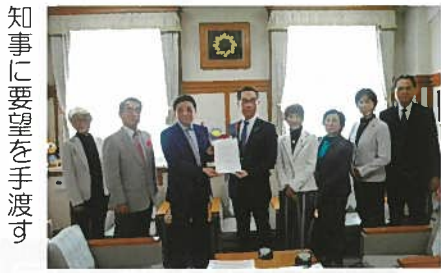
し、高齢者には医療費負担増を押し付けようとしています。今後、中小企業や個人事業などの倒産・廃業、失業などが危惧されます。大野知事を先頭に埼玉県が全力で頑張るのは当然としても、コロナ感染の収束には、



県議団控室で相談を受ける村岡

国の本気の対策が不可欠です。やらないなら、やる政治へと変えるしかありません。

### 知事へ来年度予算の要望提出 村岡など県議団と党県委員会



知事に要望を手渡す

10月16日、村岡など共産党県議団と党埼玉県委員会は、大野知事に、来年度の施策や予算について予算要望を申し入れました。要望書ではPCR検査の拡充、保健所体制整備・医療体制整備と支援強化、中小企業への支援強化、生活困窮者への支援強化、治水対策、コロナ過での複合災害への備え、など求めました。

大野知事は要望を参考に、「要望されたように人の命をとにかく守ることを最優先に考えていく」とのべました。

## 野党の共同の力で 埼玉から流れを変えよう！

10月19日、開催された「安保関連法廃止の国会をつくろう！埼玉から流れをかえよう！立憲主義を取り戻す！9条こわすな！戦争させない！10・19オール埼玉総行動決起集会」がさいたま市の埼玉会館で開かれました。埼玉弁護士会・連合埼玉・埼玉連が連帯あいさつ。高田健さんのゲストスピーチのあと、立憲民主党、日本共産党、社民党の各党があいさつしました。共同の力で流れを変えよう！と決意しました。



## 待ち望んだ核兵器禁止条約1月発効 日本は条約に署名し批准を！



条約発効を伝える朝日新聞としんぶん赤旗

国連での歴史的な「核兵器禁止条約」がついに批准国が50に達し、人類史上初めて核兵器を違法化する条約の来年1月発効が確定しました。広島・長崎の被爆者をはじめ世界の市民と多数の国々の共同の力が歴史を動かしました。私も、広島や長崎での原水爆禁止世界大会には何度も参加してきただけに感無量です。「核兵器禁止国際署名」には大野知事も奥ノ木川口市長も署名しています。

しかし、唯一の被爆国である日本政府は条約参加を否定する姿勢に終始しています。世界に対して恥ずべきことです。

12月7日 県議会本会議・質問に立ちます（予定）  
ぜひ、傍聴にお出かけください  
参加される方は、体調管理、マスク着用をおねがいします

### お悩みやご要望など、ご相談も村岡へ

日本共産党県議会議員 2020年11月号 NO6  
**村岡まさつぐ県政ホットライン**  
(県政事務所二ユース)  
発行 村岡まさつぐ県政事務所 川口市芝西2-26-20 田村店舗2階  
☎ 048-485-8526  
連絡先 党埼玉県議団 048-824-3413  
フェイスブックで発信中 ぜひご覧ください。



# ICT化の中小企業(川口市)に驚き 大野知事の「ふれあい訪問」に同行



10月16日、大野知事の「ふれあい訪問」の川口市内3カ所訪問に同行しました。奥ノ木市長も参加。

まず、領家のフジムラ製作所。板金工場として創業。社長が息子さんに変わったのち、本格的にICT(情報伝達技術)化を進め、見積りから製造、フォロワーアップまで全ての工程をデジタル化。また役員も社員も若いのにも驚き。二番目は大泉工場。鋳物工場の跡地を使い、「食」をキーワードに多彩な事業を展開。三番目は、鳩ヶ谷にある社会福祉法人「鳩ヶ谷ほっとすてーしょん」。障害者の多機能型事業所です。

フジムラ製作所を視察する

## 荒川の洪水対策 荒川調節池増設を国交省に聞く



国交省の説明を聞く村岡など

11月5日、衆院議員会館で、事業が開始された荒川第2、第3調節池について、国交省より説明を受けました。

塩川鉄也衆院議員、伊藤岳参院議員、梅村さえこ前衆院議員、県議団から村岡などと、関係自治体のさいたま市、川越市の市議が参加しました。

質疑では、「台風19号での荒川第1調節池が果たした効果は?」「河道内の調節池という工法が有効なのか?」「川越線や京浜東北線など堤防より低い箇所の整備強化が優先ではないか?」などの質問に、担当者からは、「十分承知はしている。平行してやっていく」と回答しました。

私の「直轄負担金の埼玉県負担が大き過ぎる」の質問には、「説明出来る様に検討中」との回答でした。

### また どこかの山で会いましょう

15年間お世話になった地域のハイキングクラブ。創立35周年を機に、高齢化などで先日の総会で解散を決めました。山に全く縁のない人間でしたが、山へ登る人々は別世界の人に加え、その未知への憧れが心の隅にありました。誘ってくれる方があり50代で入会、初めての山行は11月の西上州の八風山。紅葉の山々、山道の樹々は霧氷に輝き感激し、山にはまりました。豊1帖2人の仙丈岳・馬ノ背ヒュッテ、雪溪の白山で飲んだコーヒ―、雨と冷気に断念した槍ヶ岳の穂先、赤岳・天望荘に入った風呂、唐松岳の雲海に沈む太陽など、たくさんの思い出、去っていく仲間に新たな仲間、ひとつひとつが愛おしく感謝で一杯です。

臨時総会の横断幕には「35年間ありがとうございました。また どこかの山で会いましょう!」とありました。本当に山で会いたいです。



## 市内各地で県議会報告



10月25日、金子幸弘市議と鳩ヶ谷西地域の県政・市政議会報告会が開かれました。そして、11月7日、柳崎地域、8日、鳩ヶ谷里地域でも開催。

おくだ智子予定候補も駆けつけ決意を表明。参加者からは、コロナ対策や豪雨被害対策などは柳崎地域、右は鳩ヶ谷里地域の報告会

## 希少種動植物の保護を 飯能郊外の開発現場を視察



開発現場を調査する村岡

希少種動植物の宝庫といえる飯能市の阿須山中。いま、この山に重機が入り、山が削られています。市が市有林にメガソーラーとサッカー場を造る開発です。県は、9月25日に開発を許可。しかし、県森林審議会の答申には、「希少野生生物の取り扱い」の異例の意見が付記されています。

10月28日、県議団は「加治丘陵の自然を考える会飯能」の会員の案内で現地を視察。絶滅危惧種のコクランも確認しました。

10月29日、「考える会」は、県に希少種動植物の調査と保護を要望しました。

## 台風被害の支援に謝意 再建農場主が知事訪問



知事に新米を手渡す

昨年の台風19号で、トラクターなどの農機具全てが使用不能(被害総額1億円)など甚大な被害を被った県内の大規模農家の原農場。県議団は県の支援を要請。国、県の支援もあり、見事に再建され、春の小麦、そして、今秋、新米も収穫できました。

10月19日、農場の原会長が新米を携え、大野知事を訪ね、県などの支援に謝意を伝えました。村岡などが同席しました。

## 来年度県予算への要求 県民運動実行委などが県交渉



要望する代表など

11月6日、県内の各民主団体や労働組合などからなる県民要求実現埼玉大運動実行委員会と県社会保障推進協議会は、埼玉県に、来年度予算に対する県政要求行動を行いました。県議団から柳下県議、秋山県議と村岡が参加。

私は社会保障分野に参加。国保減免や国保証の取り上げ中止、経営危機の医療機関への財政支援など要望。医療機関の深刻な実態が語られました。



埼玉県  
12月県議会

県議会本会議場の壇上で質問する村岡

# コロナ禍の 学生の孤立・困窮、中小事業者の廃業の危機を救え — 「国・県に届け」と、質問で現場の声を訴える —

## 「廃業を考え、気持ちが悪くそう」 この事業者などの苦難に支援を

12月県議会で、私は一般質問に立ちました。質問の中心は深刻なコロナ感染拡大問題で、準備では様々な分野の現場の声を聞かせてもらいました。

特に衝撃だったのは青年・学生の声でした。

「野菜やくだものは贅沢、もやしが学生の味方」、最初に聞いた時、ピンときませんでした。コロナでバイトは切れ、親も収入減で仕送りも減り、1日3度の食事もできないほど経済的に追い詰められ、「ご飯にしよう油をかけて食べている」「安いもやしに頼り」…と。コロナ感染の下、学生の皆さんは大学に行けずリーモーター授業、新1年生は大学生となった実感もなく、孤立と困窮にあえいでいることを知り、質問で取り上げました。

地域の中小事業者の皆さんの実態も深刻でした。

建設業の方からは、「単価を一方的に30%切られた、でも、受けるしかない」。飲食業の方からは「お客が来ない時は廃業を考え、お客が来ればもう少し頑張ろうと、切なくて気持ちが切れそうになる」の声でした。

この現場の実態を、何としても県や国に届けなくてはと、質問で支援を求めました。

(村岡質問の要点は、県議団発行の県政ニュースレターで詳報)

## 大規模検査の実施、医療機関への支援強化など

### — 埼玉県に緊急の申し入れ

12月25日、私・村岡など党県議団と党埼玉県委員会は、年末をひかえ、コロナ感染拡大が危機的状況になっていることから、大野知事にコロナ対策の緊急の申し入れをおこないました。

申し入れでは、大規模な社会的検査の実施をはじめ、医療機関への財政支援、自宅療養者の宿泊施設確保、保健所体制の抜本的強化と、年末年始の体制強化など求めました。



砂川副知事に申し入れる村岡(右端)など党県議団と荻原初男党県委員長

お悩みやご要望など、ご相談も村岡へ

日本共産党県議会議員 2021年1月号 NO7  
村岡まさつぐ県政ホットライン

(県政事務所ニュース)

発行 村岡まさつぐ県政事務所 川口市芝西2-26-20 田村店舗2階

☎ 048-485-8526

連絡先 党埼玉県議団 048-824-3413

フェイスブックで発信中 ぜひご覧ください。



## 「困窮している人忘れがちに…」 大野知事が挨拶で



傍聴者集会であいさつする大野知事

一般質問終了後の傍聴者集會に、大野知事が駆けつけ、「今日、大切な指摘をいただいた。大きな課題に取り組んでいると最も困窮している声を忘れがちです。気づかせていただいている」などとご挨拶いただきました。

## — コロナで困窮の学生支援を — 私の質問を埼玉新聞が報道



11月25日、民青同盟の青年・学生向けの食料支援プロジェクト、フードパントリーが東川口駅前で行われ、私もお手伝い。食料は野菜ジュースとお米かパスタを選んだ。その他に、カップ麺やお菓子、缶詰めなどから3品選んで持ち帰ってもらいました。この学生などの声も質問で…。



1月1日、川口駅前、新年の抱負と決意をのべる。左から、村岡、おくだ智子2区予定候補、梅村さえこ前衆院議員、伊藤岳参院議員、塩川鉄也衆院議員と共産党市議団など

## 2021年 本気で政権交代を

いま、最優先の政治課題はコロナ感染対策です。政府は1都3県に非常事態宣言を発出しましたが、県議会に身を置く者として痛感するのは、国のコロナ対策のあまりに遅いこと、本気度が感じられません。GOTOトラベルの中止も世論に追い込まれての決断、PCR検査の拡大、医療機関への支援、どれをとっても国の地方自治体への財政支出はわずか。このままでは医療は崩壊し、感染抑止は見通せません。本気で国民の命とくらしを守る政治へ変えねばなりません。今年には必ず総選挙があります。政権交代し野党連合政権をつくりましょう。日本共産党の躍進に力をお貸しください。私も全力でがんばります。

埼玉県議員 村岡まさつぐ

## まさつぐのティータイム(6)

わすれず背筋も伸びました。  
M先輩！ 今年も、市民と野  
党、力を合わせ、大きな花を咲  
かせますよ！ 応援よろしく。



これはMさんから頂いたお花の絵に添えられたメッセージです。Mさんも私も、学校は違うけど同じ建築を学びました。山好きも同じですが、Mさんは大学のエベレスト登山隊にも参加。体験記を「ヒマラヤのパレット」として「山と渓谷社」から出版もした登山家。私は初級レベル。また、二人とも絵が好きで描きますが、Mさんはプロ級、私は駆け出し。どれも「レベル」(レベルが違う)ですが、私は勝手に「先輩」と想っています。新年早々、そのM先輩から温かい激励のメッセージ。感謝・感謝です。思わず背筋も伸びました。

### 小さなお花 みんなで咲けば 大きなお花

## 見沼たんぼの保全へ 農家の声を聞き、現地の調査へ

見沼たんぼ・  
ほうれんそう畑



工法の根拠、今日でのタテ割り行政の弊害など、様々な課題が見えてきました。  
11月28日、地元の農家の案内で、見沼たんぼを視察。見事な街路樹はメタセコイヤ。しかし、根が水路を壊し、畑に伸びてトラクターの刃も折れてしまう。枯葉が畑一面に落ちて葉モノ野菜は大変です。  
見沼代用水の水はきれいでも川底はゴミだらけ、様々な課題が見えました。

11月14日、見沼たんぼにかかわる農家や研究者、農民連の方々と意見交流会を行いました。見沼たんぼの歴史、開拓の



農家や農民連の方々の声を聞く



### 川口機械工業協同組合を訪問

12月15日、川口機械工業協同組合を訪問し、葛生誠一郎理事長、白根幸男副理事長らと懇談させて頂きました。コロナ対策や経済対策等、様々な質問なども出され、有意義な時間となりました。



### 川口鋳物工業協同組合を訪問

12月1日、川口は「キューポラのある町」として、鋳物が盛んでした。その川口鋳物工業協同組合を井上薫市議と訪問し、石川義明理事長と懇談しました。コロナ禍での要望など伺いました。



### 川口商工会議所を訪問

11月26日、県内最大の中小企業が集積する川口市、その産業、経済に大きな役割を担っている川口商工会議所を金子幸弘市議団長と訪ねました。伊藤光男会頭と懇談し、深刻な地域経済の実情、行政への要望等、ご意見を頂きました。

## 川口・経済とくらしの声を県政へ 各界・団体と懇談、要望を聞く……村岡まさつぐ

### 荒川の治水防災は？

#### 合同研究会・学習会に参加

12月22日、荒川の治水防災問題合同研究会・学習会が川口市で開催され、県議団全員で参加しました。  
主催は東京自治問題研究所と埼玉自治体問題研究所です。3人の研究者からの報告と質疑交流があり、本県に係る荒川調節池の増設事業にも触れられ、耐水堤防など実践的な提案もあり、大変勉強になりました。  
都内からの参加や超党派の議員が参加しました。



訂正・ホットライン11月号の「知事のふれあい訪問同行」の写真・フィルム製作所は「大泉工場」でした。訂正しお詫び申し上げます

### アスベスト被害者救済を！ 集会で激励あいさつ

12月20日、建設現場でアスベストを吸い込んで、肺気腫など犠牲となった建設労働者らについて、埼玉から被害者救済・補償基金制度創設の声を広げようと「12・20建設アスベスト埼玉集会」に参加。立憲民主党の国会議員に続いて、伊藤岳参議院議員と私・村岡が連帯のあいさつをしました。



アスベスト集会で激励あいさつ



### 川口生活と健康を守る会を訪問

11月9日、川口生活と健康を守る会を訪問、金井会長ら役員さんより現状について伺いました。病気で生活が困窮する人が急増していること。高齢者や生活困窮者の住居確保が難しくなっている、等々、厳しい現状が語られました。



### 川口民主商工会を訪問

11月11日、コロナ禍での業者の実態を知る為、守屋ひろこ県議と川口民主商工会を訪問。岩瀬晃司会長はじめ会員の方、事務局員の皆さんから、深刻な状況を聞かせて頂きました。地域経済と地域のまちづくりを支える中小事業者を、何としても守らねばならない、と決意を新たにしました。

昨年11月、川口駅前小池晃党書記局長を迎え、行われた演説会風景(画:森山勇氏)



# 2021年度埼玉県予算案、コロナ対策が重点！ 社会福祉の後退許さず、県民サービス向上へ、予算審議に臨みます

2月12日発表された埼玉県新年度予算案について、事前に大野知事から、直接、各会派に概要説明がありました。こうした丁寧さは評価できます。一般会計の総額は前年度比8.1%増の2兆1198億円で、初の2兆円超えです。コロナ感染の影響で県税は大幅減収の見込みで、赤字地方債の発行などで必要な事業をすすめる見込み。

重点事業としては、◆コロナ感染対策◆DXの推進◆防災・減災との説明。

私が県議初当選以来、一般質問でも要求してきた「特別支援学校の増設整備」「肢体不自由児特支のスクールバス増便」が実現します。また「緊急治水事業」。さらに、全国一少ない県職員数により災害やコロナで、その弊害が露わとなりましたが、今回、知事部局だけで119人の増員も実現します。党県議団は厳しい財政事情を口実に社会福祉の後退は許さず、県民サービスの向上を求め予算審議に臨む決意です。

県会議員 村岡まさつぐ

## コロナ対策強化求めた埼玉県への要望 PCR検査拡充 高齢者施設・医療機関に続き グループホーム・障がい者施設でも実施へ



大野知事に対策強化求める要望書を手渡す  
萩原初男党県委員長と村岡と柳下県議団長

1月29日、村岡県議など党県議団と党県委員会は、大野知事に、再度の「コロナ禍から県民の命と暮らしを守る施策の強化を求める重点要望」を提出。要望では、県が高齢者入所施設の職員を対象にPCR検査の実施に踏み切ったことを評価しつつ、宣言後の感染の急拡大や医療機関・介護施設などでのクラスターの発生などの状況を踏まえた対策の強化を求めました。

## 保育従事者への支援・埼玉県へ要請 保育園の園長さんと要請

2月9日、県内の保育園の園長さんが、コロナで過重負担になっている保育従事者への慰労金の支給や、職員への定期的なPCR検査などを求める要望書を埼玉県に提出。村岡など党県議団が同席し、県担当課と懇談しました。



担当課職員と懇談する園長さんなど

子どもにも感染させてはならない、抱っこしてよいものか。若い保育士は涙を流して悩んでいる。自分たちでPCR検査も受けているが、保育士は不安で疲れきっているが、園長としてどうねざらったらいのか。保育現場の苦悩の実態などが語られました。梅村さえこ前衆院議員も参加しました。

2月12日、埼玉県は予算案の発表に合わせて、「PCR検査を障害者入所施設とグループホームにも拡大する」と発表しました。検査拡大は、村岡など党県議団や関係諸団体が繰り返し要望してきたもので、関係者の願いが実現しました。さらなる拡大が求められます。

## 社会的検査を拡充

埼玉県障害者施設も対象に

埼玉県は12日、新型コロナウイルスの重症化リスクの高い高齢者施設、障害者施設、グループホームのPCR検査の対象拡大を発表しました。

新たに検査対象に加わるのは、認知症グループホームや障害者入所施設などの従事者と、新たに検査対象に加わるのは、認知症グループホームや障害者入所施設などの従事者と

埼玉県は12日、新型コロナウイルスの重症化リスクの高い高齢者施設、障害者施設、グループホームのPCR検査の対象拡大を発表しました。

新たに検査対象に加わるのは、認知症グループホームや障害者入所施設などの従事者と

埼玉県は12日、新型コロナウイルスの重症化リスクの高い高齢者施設、障害者施設、グループホームのPCR検査の対象拡大を発表しました。

新たに検査対象に加わるのは、認知症グループホームや障害者入所施設などの従事者と

## 党県議団の要望に

### 大野知事がタブレットで回答

2月12日、大野知事より共産党の来年度予算要望に対する回答がありました。

これまでは担当者より回答書が届けられるだけでしたが、知事が各会派に直接回答したのは初めてのこと。知事からは、コロナで県税収入が大幅減、高齢者福祉は増加傾向、優先順位を考えていく。コロナ対策や災害対策は待たないなどの説明で



大野知事から回答をいただく

した。知事からはペーパーレス、タブレットで受け取りました。

なお、村岡など共産党県議団と党埼玉県委員会は、埼玉県に昨年10月、来年度の施策や予算について予算要望を申し入れていました。

## コロナ感染の最前線でがんばる 各地の保健所を視察し調査



川口保健所前で

コロナ感染対策の最前線でがんばっている保健所。党県議団は、この間、草加、春日部、南部、川口市保健所等を訪問し、現場の要望など聞き取り、その実現にがんばっています。

2月埼玉県議会、2月19日開会しました  
3月26日閉会予定です

2月13日付

「しんぶん赤旗」

お悩みやご要望など、ご相談も村岡へ

日本共産党県議会議員

2021年2月号 NO8

村岡まさつぐ県政ホットライン

(県政事務所ニュース)

発行 村岡まさつぐ県政事務所 川口市芝西2-26-20 田村店舗2階  
☎ 048-485-8526

連絡先 党埼玉県議団 048-824-3413

フェイスブックで発信中 ぜひご覧ください。



## 通学に危険な新しい道路交差点 現地調査で確認、解決へ



2月5日、鳩ヶ谷市内の第2産業道路に交差する新しい道路が出来たことで、「子どもたちの通学が危険」との訴え、村岡県議が地域住民の方と現場を視察。様々の方々の思いがうまく調整でき、子どもたちの安全を守るにはどうしたら良いか。さっそく、県警に申し入れます。

交通量が多い道路を横断する子どもたち

## 県DX推進計画を学ぶ

### 計画は新年度から3年間

2月5日、党県議団は、埼玉県が新年度から始める「埼玉県デジタルトランスフォーメーション(DX推進計画)」について、まず「内容を理解することが大事」と、担当者を招いて学習会を行いました。推進計画期間は新年度から2024年までの3年間で、新年度予算案に予算が計上されています。



講師の説明を聞く村岡など

デジタルトランスフォーメーション(DX)とは？  
デジタル(Digital)と、変革を意味するトランスフォーメーション(Transformation)により作られた造語です。(県DX推進計画「案」より)

県のDX推進計画は、昨年末決められた総務省の「自治体DX推進計画」に基づく。

# いのち・暮らし守れ、県民の願いを県政へ 各界との懇談、現地に飛び、声を聞く……村岡まさつぐ

## Mさんのスケッチ展を見学 会場美容室は談話室



県政ニュースにスケッチ画を提供して下さっているMさんから展示会に招待され、2月10日、会場美容室を訪問。美容室なのに雰囲気はギャラリ―そのものです。店主さんの趣味であり、こだわりです。ちょうど登山家でもあるMさんの山仲間も来ていて、3人しばしば芸術談議。ここは地域のみなさんが集まって、絵などの創作教室にもなっているとか。コロナで、ややもすると鬱屈した毎日。近所にこんなほっとする空間があるのって素敵ですね。

芸術談議する村岡など

## コロナ禍の苦しい子ども食堂など訴え

### ― 埼玉県生協連と懇談 ―

1月19日、埼玉県生活協同組合連合会との懇談会に、党県議団から柳下団長と村岡が参加。吉川尚彦会長から、コロナ禍でのフードドライブ、子ども食堂、地域での助け合い活動など、お話しいただきました。また、県生協連の県に対する来年度の予算要望では、その第1に、コロナ感染防止、感染者の速やかな発見と適切な隔離体制確保が掲げられていました。県政に反映させていきます。



会長のお話を聞く

## 「リハビリの保険適用なくなった」の訴えに 関係者と埼玉県国保連を訪問、懇談

2月5日、医療機関から、「昨年からは85歳以上の運動器リハビリでの保険適用の一部が認められなくなった」との訴えがあり、関係者と村岡と秋山県議で、県国保連合会を訪問し、説明を受け、懇談しました。血管の病気や骨折などのけがが、人工関節などの手術後などでのリハビリが、1昨年までは9単位(1単位・20分)を上限として、保険診療として認められていましたが、「1日5単位以下は保険診療として認めない」と変わった。背景に国の医療費削減があります。撤回を求め、がんばる決意です。



常務理事のお話を聞く村岡など

## 児童施設の虐待で

### 「許さない会」・竹中さん講師に学ぶ

1月26日、熊谷市の児童養護施設の虐待が、元園児より県に通告されたことで、党県議団は「施設内虐待を許さない会」事務局長の竹中勝美氏を講師に学習。梅村さえこ前衆院議員も同席しました。竹内氏は、「殴る蹴るは当たり前」の施設の実態なども語り、「幼い児童の代替的養護は家庭を基本とした環境で提供されるべき」など話され、里親制度の普及、児童養護施設の小規模化、特に先進国には存在しない乳児院の廃止など訴えられました。重要課題として対応していきます。



施設内虐待を学ぶ村岡など

## まさつぐのティータイム(7)

### 機械におだてられ、指導され「筋トレ」

「イスを使った筋トレ」「免疫力がアップ」などと、コロナ禍で運動不足のせいか、テレビでもよく見かけます。いざ挑戦、でも続きません。そこで息子の運動ゲーム機・任天堂の「リングフィットアドベンチャー」を借りました。スクワットや肩こりにきく運動など、メニューを作り、リングを押してスタート。テレビ画面のアニメのインストラクターに合わせ、手足を上げ下げ、身体をひねる。メニューごとに点数が表示され、女性の声で「カッコイイ」「最高だね」「ラスト1回」などの掛け声が入ります。わき見をすると、すかさず「気を抜かないでね」と注意される。機械におだてられ、指導されている自分が情けないが、結果良ければ……。続くかな？



## 2021年度予算―県民要求が反映

2021年度当初予算は、一般会計・特別会計・企業会計の合計3兆5千億円となります。

一般会計では、コロナ対策で約879億円、医療従事者手当支援の対象拡大や、入院医療機関への協力金単価の増額、保健師38人増員など、医療提供体制強化が図られ、災害対策の強化も盛り込まれました。県民要求との関係では、特別支援学校の拡充として、鳩ヶ谷高校内の分校整備はじめ大宮北特支の増築、肢体不自由特支へのスクールバス10台増便などに約32億円、さらに、児童相談所新設などに約8億3千万円、ケースワーカー42人、児童心理士14人の増員が実現します。

大野県政は誕生以来、危機対応に追われ続けていますが、県民の声や共産党の要望に誠実に向き合う姿勢が予算にも反映されたといえます。他方、家畜保健衛生所統廃合や児相業務の一部民間委託など懸念すべき点は改善を求めました。

## 2月県議会 26日閉会 新年度予算を審議 コロナ・災害対策や児童虐待対策が強化！

(詳細は県議団4月発行ニュースレターに掲載)  
○エスカレーター条例(埼玉県エスカレーター)の安全な利用の促進に関する条例)が提案されました。エスカレーターでの駆け上がりなどによる事故が後を絶たないことから、「エスカレーターは立ち止って利用すること」を義務化するものです。わが党にも障害者の方々から「エスカレーターで脇を歩かれるのはとてもこわい」「何とかして欲しい」との声が寄せられておりました。  
(施行日は2021年10月1日)  
○今回から本会議質問に「一問一答方式」が採用され、従来の一括質疑と選択できるようになりました。

### コロナ禍で困窮する学生支援に

### 県がチラシ送る…村岡質問が実現



2020年12月議会本会議で学生支援など要望する

2月17日、『学生の皆さまへ生活で困っていることご相談ください』のチラシを、県内184の大学・短大にお願いしました。と県担当課から報告がありました。  
私が12月議会で「コロナ禍で孤立困窮する学生の相談窓口が必要」と質問したものに答えたものです。相談の窓口は、各市の相談センターと町村はアスポート相談支援センターを案内しています。各大学にはデータで送り、学生の皆さんへ周知してもらっています。

学生の皆さまへ  
生活で困っていること  
ご相談ください

生活が苦しい...  
家賃が払えない...  
家計のやりくりを相談したい...

お一人で悩みを抱え込んでいませんか?  
困っていることを一人で抱え込まず、「命」を限り、私たちと一緒に皆さんが希望を叶えるような「明日」をつくりましょう!

相談窓口は裏面をご覧ください  
(お住まいの市町村ごとに相談窓口があります)

### コロナ禍で厳しい芸術劇場 利用率6割でも多くの努力が



さいたま芸術劇場を訪問

2月24日、2月県議会を前に、予算委員の前原県議とともに議案調査で、さいたま芸術劇場へ。県立文化施設管理運営費が予算計上されていますが、コロナ禍での文化芸術の取り組みと課題について、埼玉県芸術文化振興財団に伺いました。

いま、コロナで施設利用率は6割を切っていますが、その厳しい状況のもと、動画配信事業や彩の国シエイクスピア講座、劇場見学ツアーなど、様々な努力がなされています。困難な時こそ、公立劇場の役割を發揮すべきです。

### "フクシマを忘れない"

### 原発事故から10年＝浦和駅前で訴え

3月11日、東日本大震災、東電福島第1原発事故から10年。

この日、「フクシマ(福島)を忘れないために」と、浦和駅前、「戦争をさせない埼玉の会」主催の昼休み宣伝行動が行われ、福島から埼玉に避難されている方、原発問題に関わってきた方などが、「原発なくそう」、「再稼働NO」と駅利用者や買い物客などに訴えました。



浦和駅東口で

村岡など党県議も参加し、訴えました。

2月16日、川口市里の住民代表が、信号機設置など求め、県警本部に要望書を提出し、小学生や中学生など通学路の安全確保を訴えました。

県内の歩行者用信号機の設置は年間平均で約64基。新規の横断信号機は、年間たった10基前後です。



県警本部に要望書を手渡す住民代表

### 通学路の安全確保に信号機設置を 住民代表が県警本部に要望

### お悩みやご要望など、ご相談も村岡へ

日本共産党県議会議員  
2021年3月号 NO9  
村岡まさつぐ県政ホットライン



(県政事務所ニュース)

発行 村岡まさつぐ県政事務所 川口市芝西2-26-20 田村店舗2階

☎ 048-485-8526

連絡先 党埼玉県議団 048-824-3413

フェイスブックで発信中 ぜひご覧ください。



# あれから10年、明日へ

## 震災の年、県議に当選…村岡

### 初質問で震災対策の強化求める

東日本大震災から10年。あらためて犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災者の皆さまにお見舞い申し上げます。

私自身、県議としての出発はまさにこの大震災から

でした。3・11のその瞬間は街頭演説中でした。

ニュースは津波の大惨事や福島第一原発の炉心温度の上昇を伝え、得体の知れぬ恐怖を覚えました。その後は救援募金の呼びかけ、計画停電のお知らせビラ配布、県議となった私は液化化被害となった南栗橋へ飛び、双葉町の皆さんが避難した旧騎西高校を訪問。そして6月、宮城県へ。

9月県議会の初質問で、東北被災者への支援や放射能汚染問題などを取りあげました。未だに帰れない、帰らない避難者は実質8万人以上です。国は「10年の復興期間」の終了で支援策を打ち切ろうとしています。許せません。

復興は途上であり、原発廃炉の見通しは立たず、汚染水の海洋放出も重大問題です。避難生活の長期化での健康被害も深刻です。東日本大震災は終わっていません。

今後も、被災者に寄り添った支援策を求めると同時に、この教訓を埼玉での防災に生かす決意です。



仙台市荒浜の風景(2011年6月)



2011年9月の県議会本会議で、質問する村岡

# 東日本大震災から10年、県議10年……村岡まさつぐ いつも被災地に心寄せ、復興対策と埼玉の防災に力注ぐ

## 宮城の被災した現場に立つ

### 2011年6月、仙台市を視察

2011年6月、震災被害の大きかった仙台市を視察。仙台市の海岸沿い、見渡す限りの荒涼とした大地。すべてが破壊され多くの方々が犠牲に。津波による惨状に言葉も出なかったことが思い起こされます。



上・仙台市若林区を視察する  
下・仙台市泉区の回地を視察する

市街地の建物被害も甚大で、鉄筋コンクリートのマンションは、壁が崩落し鉄筋が押し曲げられ、居住不能。造成地の地盤沈下も。震災被害の現場視察は、被災者支援と埼玉の防災への決意を持たせました。

## 避難生活を送る双葉町民の願いを県政に

### 双葉町長、町民と懇談、要望を聞く



被災直後の5月、福島県双葉町民が避難していた加須市内の旧騎西高校で、双葉町長と懇談。避難住民の要望を聞き、県政に。その2年後、2013年、当時も県内に4000人余が避難生活を続けていました。加須市の避難住民と懇談し、要望を聞き、上下水道の減免制度拡充などおこなうことを求めました。

上・2011年5月 加須市の旧騎西高校で双葉町長と懇談  
下・2013年2月 福島県議団と福島県双葉町の避難者と懇談

## いまだ終わらない原発・放射能汚染

### 原発再稼働ストップ、脱原発の日本へ



スキップシティ広場で放射線を測定する(2011年6月)

震災で原子炉爆発以来、関東各県は放射能汚染の事態に。いまだ、避難は終わらない。県内各地で放射能線量調査を行い、県民の安全確保に、村岡はじめ党県・市議団が奮闘。

とんでもない！

### 自民が原発再稼働意見書採決強行



県庁前で原発再稼働ストップを訴える(2011年10月)

2018年12月議会でも、「原発の再稼働を求める意見書」を共産、民進、公明、改革の各会派の反対を押し切り、自民が強行可決。全国、世界から抗議が殺到しました。

原発再稼働は中止し、原発は廃炉へ。脱原発の日本を！

## 豪雨・竜巻など災害多発

### 現地に駆けつけ奮闘！

2017年、2019年の台風、そして竜巻など、県内でも自然災害が多発しています。

村岡など党県議団は、いつも現場に駆けつけ、被災者の実態を調査し、被災者の声、願いを県に届け、埼玉の防災にがんばっています。



台風19号で崩落した秩父の県道210号線の現場に(2019年10月)

## まさつぐのティータイム(8)

### 「わくわくゴミ拾い」に参加

#### 胴長靴を初体験、中学生に助けられる

近所の上谷沼調節地での環境団体主催「わくわくゴミ拾い」に参加しました。小・中学生、先生、住民、埼玉県の職員、子どもから大人まで、A班、B班に分かれ、雑木林、湿地、沼地などでゴミ拾い。出るわ、出るわ。ペットボトル、空き缶、ビールケース、プラスチックごみの多いこと。私は初めて胴長靴を履いて沼地を担当。ズブズブと足をとられ中学生に助けってもらった始末に。

集めたゴミの前で交流会。中学生の「ゴミが野鳥の住処を壊しているのが分かった」の発言が頼もしい。それぞれが何かを感じ取ったようでまさに「わくわく」の2時間でした。苦戦したどろ沼に白鷺が1羽降り立ちました。その姿は神々しく輝いて見えました。

